

すぎなみ環境ネットワーク

第4次中期計画

令和4（2022）～令和8（2026）年度

3年プログラム



みんな で 進めよう S D G S

令和4年3月

特定非営利活動法人 すぎなみ環境ネットワーク

目 次

はじめに	1
I 計画の考え方	1
II 計画の期間	2
III 事業計画	2
1. 循環型社会を目指す取り組み	
(1) 3Rをととした循環型社会の実現	2
(2) 「もったいない」を合言葉に使い捨てのライフスタイルからの脱却	3
(3) プラスチックごみの減量を目指す活動の展開	5
(4) まだ食べられるのに捨てられてしまう食品ロスの削減	5
2. 生物多様性の保全を目指す取り組み	
(1) みどりの持つ多面的な機能を学び、関心を高める事業の推進	6
(2) 身近な自然の保全活動の推進	6
(3) 次世代にみどりを引き継ぐための事業の展開	7
3. 次世代へよりよい環境を引き継ぐ取り組み	
(1) 地球温暖化などの地球環境問題、生物多様性、資源循環など 様々な環境問題についての普及啓発	8
(2) 地球環境を次世代へ引き継いでいくための環境教育の推進	9
(3) 地域の施設と連携した環境活動推進センターのPR	10
4. 広報を充実させる取り組み	
(1) 情報発信の推進	11
(2) ホームページのあり方	11
5. 持続可能な法人運営に向けた取り組み	
(1) 財政の強化	12
(2) 事業委員会の活性化、人材の育成	12
(3) 協働・連携の強化	13
IV 計画の体系図	15

すぎなみ環境ネットワーク 第4次中期計画

令和4（2022）～令和8（2026）年度

はじめに

今日の環境問題は、私たちの日常生活や経済活動から生ずる過大な環境負荷が原因となっています。そして、その解決には大量生産・大量消費・大量廃棄型の現代社会の在り方そのものを持続可能な社会へと変革していかなければなりません。

すぎなみ環境ネットワークは、区や事業者と協働して、環境問題の解決という大きな課題に対して身近なところから取り組み、一人でも多くの区民が環境へ関心を持ち、問題解決に向けて行動していくことを目指して活動しています。

2016～2021年度の第3次中期計画では、行政・事業者・区民と連携して環境配慮行動を実践する諸事業や活動へ継続的に取り組み、収支のバランスの取れた経営を目指して活動してまいりました。

この度、これまでの成果を踏まえ、これからも環境配慮行動を実践する活動を行っていけるよう、令和4（2022）～令和8（2026）年度の第4次中期計画を策定いたしました。第4次中期計画でも、区からの受託による環境に関する様々な講座・講演会、区立小・中学校等での環境学習支援などを通じた環境保全への普及啓発活動、さらに衣類雑貨や食器などのリユース、フードドライブによるごみの減量、みどりに親しむ活動など事業委員会が中心となって事業を企画・運営、実施してまいります。

I 計画の考え方

すぎなみ環境ネットワーク第4次中期計画は、当法人の目的である環境に配慮した持続可能な社会の実現に向けて、取り組むべき項目を中心に構成するものです。

当法人の活動は、区からの委託事業も実施しているところから、「杉並区環境基本計画」とも連動させて中期計画を策定しました。

また、2015年、国連サミットで持続可能な世界への指標として17の目標、169のターゲット（持続可能な開発の目標『SDGs』）が採択されました。この17の目標の中には、エネルギー、気候変動対策、循環型社会、生物多様性など、環境に関する多くの内容が含まれています。第4次中期計画においても、その目標を共有して、目標実現へ向けた計画としました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



国際連合広報センターホームページ

Ⅱ 計画の期間

令和4（2022）年度から令和8（2026）年度までの5年間とし、2～3年をめぐりに、ローリングを行うこととします。

Ⅲ 事業計画

※ 令和元年度数値は、決算数値。（令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、特異な年度であったため、令和元年度を参考数値とする）。

1. 循環型社会を目指す取り組み（もったいない事業委員会）

区民・事業者・行政との連携・協働のもと、ごみを減らし、最後までものを大切に使うライフスタイルや省資源を目指した活動を広げていきます。

- (1) 3Rをととした循環型社会の実現
- (2) 「もったいない」を合言葉に使い捨てのライフスタイルからの脱却
- (3) プラスチックごみの減量を目指す活動の展開
- (4) まだ食べられるのに捨てられてしまう食品ロスの削減

➤ 事業の実施

(1) 3Rをととした循環型社会の実現

① 食器・生活雑貨リユース事業

家庭で不要となった食器や生活雑貨を区民から寄付してもらい、簡単な清掃修理を行って、廉価で販売します。ごみ減量に寄与し、使い捨て文化を見直し、ものを大切にするライフスタイルを目指します。

取 組	元年度	4年度	5年度	6年度
生活雑貨リユース	—	1,200 千円	1,200 千円	1,200 千円
食器リユース	5,229 千円	4,000 千円	4,000 千円	4,000 千円

② 衣料品・雑貨リユース事業

区民から季節にに応じて寄付を受けた衣料品や雑貨を廉価で販売します。食器のリユース事業と同様に、ごみ減量に寄与し、使い捨て文化を見直し、ものを大切にするライフスタイルを目指しています。

取 組	元年度	4年度	5年度	6年度
衣料品等リユース	12,140 千円	12,000 千円	12,000 千円	12,000 千円

(2) 「もったいない」を合言葉に使い捨てのライフスタイルからの脱却

③ フリーマーケットの開催

区民に環境活動推進センターを広く知ってもらい、センターの活性化及びリユース活動の促進を目的にフリーマーケットを開催します。

取 組	元年度	4年度	5年度	6年度
フリーマーケットの開催	5回	6回	6回	6回

※令和元年度は、年度末の3月は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。平成30年度までは、毎年6回実施。

④ 不用品情報コーナーの運営

家庭で不要となった品物のうちリサイクルひろば高井戸で取り扱っていないものを譲渡したい人と希望する人とを法人ホームページを通して仲介する事業です。

取 組	元年度	4年度	5年度	6年度
不用品情報コーナーの運営	運営	運営	運営	運営

⑤ インフォメーションコーナーの運営

講座・講習会等の案内、ごみの減量や分別方法の周知、環境に配慮した製品の販売や紹介など環境に関する情報提供を行います。

取 組	元年度	4年度	5年度	6年度
インフォメーションコーナーの運営	運営	運営	運営	運営

⑥ 講座・講習会・講演会・見学会の開催

➤ 講座

資源の再生・ごみの発生抑制など3Rやごみ減量に関する講座を開催し、環境に関する普及啓発を行います。

取 組	元年度	4年度	5年度	6年度
講座	76回	76回	76回	76回

※元年度の計画数は、84回であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で76回の実施。また、令和3年度は、予算（区）の削減により、76回に設定。

➤ 講演会

もったいないの活動を広め、専門家による資源循環などの講演会を開催し、環境に関する普及啓発を行います。

取 組	元年度	4年度	5年度	6年度
講演会	1回	1回	1回	1回

➤ バス見学会

リサイクルや最新の省エネルギー、環境設備を有する施設をバスで訪問し、参加者に環境問題への理解と未来に向けた行動について考えてもらいます。

取 組	元年度	4年度	5年度	6年度
バス見学会	1回	1回	1回	1回

➤ サポーター養成講座

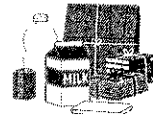
サポーター養成講座等の開催については、普及啓発委員会の取り組みの欄で掲載済。

⑦ 集団回収の推進

集団回収による資源の有効活用でごみの減量を目指して、集合住宅や町会・自治会などへ区と一体となって実施の働きかけを行い、団体数の増加と回収量増を目指します。

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
集団回収の推進	実施	実施	実施	実施

(3) プラスチックごみの減量を目指す活動の展開



⑧ プラスチックフリー商品の販売促進【新規】

環境にやさしく、海洋汚染の主な原因であるマイクロプラスチックの排出を減らすために、また区民への環境に対する啓蒙活動を推進するため、リサイクルひろば高井戸でプラスチックフリー商品の販売を促進します。

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
商品の販売	—	検討	実施	実施

(4) まだ食べられるのに捨てられてしまう食品ロスの削減

⑨ フードドライブ事業の運営

「食品ロス」を減らすため、家庭で余っている食料品を受け付け、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付するフードドライブ活動を行います。

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
フードドライブ事業の運営	実施	実施	実施	実施

2. 生物多様性の保全を目指す取り組み（みどり事業委員会）

みどりに触れあう場の整備、みどりや自然を育む心や知識の普及啓発などの活動を進めていきます。

- (1) みどりの持つ多面的な機能を学び、関心を高める事業の推進
- (2) 身近な自然の保全活動の推進
- (3) 次世代にみどりを引き継ぐための事業の展開



➤ 事業の実施

(1) みどりの持つ多面的な機能を学び、関心を高める事業の推進

① 講座・講演会

将来にわたって地域の自然が保全されるよう、区民の環境や身近な生きものについて関心を高める講座・講演会を開催します。

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
講座	4回	5回	5回	5回

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
講演会	1回	1回	1回	1回

② バス見学会

個人では行きにくい海の森公園などをバスで訪れ、参加者に環境問題への理解と自然保護に向けた行動について考えてもらいます。

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
バス見学会	2回	2回	2回	2回

③ 自然観察会

公園を散策し、樹木や昆虫・野鳥などの観察と解説を聞きながら、自然の豊かさを感じます。

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
自然観察会	4回	4回	4回	4回

(2) 身近な自然の保全活動の推進

東京都の「海の森プロジェクト」(東京湾中央防波堤内埋立地)での育林活動と東京都の歴史環境保全地域に指定されている青梅市勝沼城跡での森林保全活動は、みどりに親しみ育てる環境活動の一環として参加者の拡大を図っていきます。

また、区内の三井の森公園は、身近にみどりに触れ合うことのできるフィールドとして、地域や近隣の学校と連携して公園の整備・維持活動を行っています。

取 組	元年度	4年度	5年度	6年度
④勝沼城跡森林保全活動	9回	11回	11回	11回
⑤海の森公園での育林活動	1回	1回	1回	1回
⑥海の森倶楽部イベント参加	1回	1回	1回	1回
⑦三井の森公園での里山保全活動	45回	24回	24回	24回

※⑦「三井の森公園の里山保全活動」は、毎月の定例会後の活動と第3火曜日午後1時からの活動の月2回を環境ネットワークの活動とする（令和3年8月16日運営委員会決定事項）

(3) 次世代にみどりを引き継ぐための事業の展開

⑧小中学校等環境学習の支援【新規】

学校の地域性や特色に合わせ、省エネや温暖化防止、生物多様性、自然の保全など環境に関する様々なテーマで、小中学校及び高等学校からの要望に応じて学校に出向いて、環境学習の支援を行います。

取 組	元年度	4年度	5年度	6年度
小中学校等環境学習支援	—	実施	実施	実施

⑨（仮称）「すぎなみの森」事業構想の推進【新規】

持続可能な社会の構築を目指して、森林環境の整備及び事業を担う人材の育成、森林が持つ公益機能について区民に普及啓発をしていきます。

取 組	元年度	4年度	5年度	6年度
（仮称）「すぎなみの森」事業	—	検討	検討	実施

⑩ 環境交流ツアー事業【新規】

杉並区内では経験できない森林保全をはじめとした自然体験の機会を区民に提供するため、環境学習ならびに自然体験を伴う環境交流ツアーを検討します。

取 組	元年度	4年度	5年度	6年度
環境交流ツアー	—	検討	検討	検討

3. 次世代へよりよい環境を引き継ぐ取り組み（普及啓発委員会）

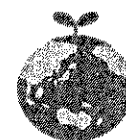
次世代へ引き継いでいく環境保全意識の向上のために、大人はもとより子どもの感性を育み、自ら行動する活動を広げていきます。

- (1) 地球温暖化、生物多様性、資源循環など様々な環境問題についての普及啓発
- (2) 地球環境を次世代へ引き継いでいくための環境教育の推進
- (3) 地域の施設と連携した環境活動推進センターのPR

➤ 事業の実施

(1) 地球温暖化、生物多様性、資源循環など様々な環境問題についての普及啓発

① 講座・講習会・講演会・見学会の開催



➤ 講座

地球温暖化や省エネ、生物多様性など今日的な課題について、生活に身近で役立つテーマの講座・講演会を開催し、子どもから大人まで幅広い環境学習の機会を提供します。

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
講座	21回	22回	22回	22回

➤ 講演会

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
講演会	2回	3回	3回	3回

➤ バス見学会

自然保護やエネルギーについて活動する地域・施設をバスで訪問し、参加者に環境問題への理解と環境保全に向けた行動について考えてもらいます。

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
バス見学会	2回	2回	2回	2回

② すぎなみエコチャレンジ事業の運営（予定）

区民等の省エネ行動を推進していくために、家庭での電気・ガスの使用量削減率に応じて、区内共通商品券を贈呈する事業の運営及び周知を行います

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
目標世帯	—	800	800	800

(2) 地球環境を次世代へ引き継いでいくための環境教育の推進

③ 川ガキ復活講座

1年を通して区内中心部を流れる善福寺川沿いを観察し、また自然の残る秋川支流の坂沢川（or 刈寄川）との比較をとおして、理想の川を目指して自分たちができることなどを活動レポートにまとめます。

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
通年講座	1講座9回	1講座9回	1講座9回	1講座9回

④ 小中学校等環境学習支援の実施

学校の地域性や特色に合わせ、省エネや温暖化防止、生物多様性、自然の保全など環境に関する様々なテーマで、小中学校及び高等学校からの要望に応じて学校に出向いて、環境学習の支援を行います。

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
小中学校等環境学習支援	実施	実施	実施	実施

⑤ 小中学生環境サミット開催支援

次世代を担う小中学生が環境への日頃の取組を実感し、環境学習内容を発表する場として、区が開催する小中学生環境サミットの開催を支援します。

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
小中学生環境サミット開催支援	2回	2回	2回	2回

⑥ サポーター養成講座等の開催

環境について学びたい人、活動したい人を募集して基礎から実践まで学ぶことのできる講座を開催し、コーディネーター・講師・事業委員の就任につなげます。

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
実施講座	1講座5回	1講座5回	1講座5回	1講座5回
受講者数	8名	10名	10名	10名

※サポーター養成については、令和元年度より、もったいない委員会とで年度交互に担当している。

⑦かんきょうアイデア展の開催

資源を有効活用した手作り作品や、環境・自然等に関するレポートを通して、小中学生や区民が環境の向上、地球環境の保全について考えることを目的にかんきょうアイデア展を開催します。各学校に作品の募集を呼びかけ、優れた作品を表彰します。

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
かんきょうアイデア展の開催	1回	1回	1回	1回

(3) 地域の施設と連携した環境活動推進センターのPR

⑧エコ路地フェスタの開催

高井戸地域区民センター、杉並清掃工場と連携して高井戸地域が区内の環境発信の拠点となるよう環境活動推進センターを会場にエコ路地フェスタを開催します。

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
エコ路地フェスタの開催	実施	実施	実施	実施

⑨清掃工場連携講演会の開催

杉並清掃工場を会場として清掃工場見学会をセットにした講演会を開催し区民の環境への関心を高め、多くの区民に環境活動推進センターのPRを行います。

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
杉並清掃工場連携講演会	1回	1回	1回	1回

※清掃工場連携講演会については、令和元年度より、もったいない委員会とで年度交互に担当している。

4. 広報を充実させる取り組み（広報委員会）

法人が実施する様々な企画事業を会員や区民に広く周知するため、広報活動を充実させ、会員や事業参加者を増やす取り組みを行います。

- (1) 情報発信の推進
- (2) ホームページのあり方



➤ 事業の実施

(1) 情報発信の推進

① 広報関係の充実

毎月1回環境活動推進センターで実施する事業の紹介を中心に、「ネットワークだより」の発行を基本に、紙媒体だけでなく、あらゆるツール（SNSなど）を活用して、区民への情報を発信します。

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
だよりの発行	12回	12回	12回	12回
特集号の発行	3回	2回	2回	2回

② 各種チラシの作成

講座や講習会及びイベントなどの実施に合わせ、チラシやポスターなどをタイムリーに作成し、きめ細かな周知を図ります。

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
各種チラシの作成・配布	配布	配布	配布	配布

③ 法人機関紙の発行

会員を対象とした「かわら版」を毎月発行し、各委員会の活動状況などを紹介し、会員間の交流を図ります。

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
かわら版の発行	12回	12回	12回	12回

(2) ホームページのあり方

④ ホームページのあり方

ホームページの内容について、節目ごとに検証し、改良（予算範囲内）・修正することで、ホームページからの各種講座等の申し込み及び迅速な活動報告の掲載によって、参加の少ない若い世代や働く世代にもアピールを行います。

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
ホームページのあり方	検証	検証	検証	検証

5. 持続可能な法人運営に向けた取り組み

持続可能な法人運営のために、財政基盤の強化、各事業委員会の活性化、人材育成などに取り組んでいきます。

- (1) 財政の強化
- (2) 事業委員会の活性化、人材の育成
- (3) 協働・連携の強化

➤ 事業の実施

(1) 財政の強化

① 経営の黒字化・財政の基盤強化

「市民の生活環境の向上をはかり、もって地球環境の保全に寄与する」ことを目指して活動している当法人が持続的に発展していくためには、財政基盤を強化し収益をアップさせ、数年続いている赤字からの脱却が強く求められます。赤字脱却のため、経費の見直しを行い、ムダとロスを排除して2年から3年で黒字化を目指します。

➤ 経営の黒字化

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
黒字化	▲ 320 万円	▲ 100 万円	100 万円	100 万円

➤ 財政の基盤強化

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
受託事業の確保・拡大(※)	45,098 千円	50,000 千円	50,000 千円	50,000 千円
自主財源確保の推進(リユース事業)	23,530 千円	16,000 千円	16,000 千円	16,000 千円
会費収入の確保	実施	実施	実施	実施
各種助成金獲得	検討	検討	検討	検討

※令和3年度受託収入額 50,218 千円

(2) 事業委員会の活性化、人材の育成

② 法人運営の活性化

会員数を増やし、法人運営の活性化を図るには、魅力ある事業が欠かせません。そのためには、実践力や専門性を持った講師、及び次世代育成の視点で事業を企画・運営できる事業委員の発掘・育成が必要となります。

➤ 会員拡大

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
会員拡大	176人	210人	210人	210人

➤ 会員交流会の実施

法人の運営のあり方や事業活動、環境問題などについて、会員同士が意見交換できる研修（交流会）を開催します。

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
会員交流会	1回	1回	1回	1回

➤ 事業委員会の活性化

取組	元年度 (事業委員数)	4年度	5年度	6年度
もったいない事業委員会	7人	10人	10人	10人
みどり事業委員会	9人	10人	10人	10人
普及啓発委員会	9人	10人	10人	10人
広報委員会	5人	8人	8人	8人

(3) 協働・連携の強化

区の実行計画や環境基本計画に基づく計画事業を受託している当法人にとって、効果を高めた事業を展開するために、行政と連携を取りながら事業を執行していきます。

また、環境に関する様々な課題において、区民の関心を高め、啓発を行っていくために他の環境団体との連携を強化します。

③ 協働・連携の強化

取組	元年度	4年度	5年度	6年度
環境団体連絡会の開催	3回	4回	4回	4回
杉並区マイバッグ推進連絡会	参加	参加	参加	参加
杉並区環境清掃審議会	参加	参加	参加	参加

第4次中期計画の体系図

R4.2.14

